

## ミニデイサービス便り

### 中学生と高校生のボランティア研修

毎年、夏休みに中学生と高校生がボランティア体験学習にと当会の「ミニデイサービスまごころ」に来てくれている。

今年も16人の学生を3回に分かれて迎えた。13歳から17歳の若い学生に、お年寄りには笑顔一杯で応えられ、心から嬉しそうである。

「うん、来てくれてほんとううれしいよー」若い屈託のない学生がコロコロと笑う声や自然にかかわってくれる様子は和やかな空気を生む。学生に感想を聞いてみた。

みんな「自分が何も役に立たなかったけれど、でもとても楽しかった」と語ってくれた。

彼女たちは気づいていないようだった。一日をお年寄りと一緒に過ごしてくれたことがお年寄りにとってどんなに大切なことだったかを。「十分ボランティアが出来たのよ」といったらほっとした顔になった。

耳が遠くて、片麻痺で車椅子のお年寄りにずーっとかかわってくれた学生は、感想を語り始めて泣いてしまった。

お年寄りから彼女は何かを学べたかもしれない。

かかわってみようの一步があれば、ボランティアは誰でも、どこでも、いつでも出来る。

彼女たちは自らの選択で、この夏その思いを少し経験することが出来たようだ。

☆9月のミニデイサービス  
 宮地公民館(保健工棟の裏) 9/2、16 事務所 9/8

## 募集しています

「まごころ」の活動にご参加くださる方を募っています。  
 在宅支援活動やミニデイサービス活動の担い手になって下さい。一人一人の個性が発揮出来る活動です。

- ◆いよいよ介護保険も迫って来ました。
- ◆要介護認定のための受付があと1カ月後の10月からはじまります。
- ◆一宮市も介護保険の準備も進んでいると思われませんが、市民には内容がまだよくわかりません。
- ◆再び皆さんと一緒に介護保険を勉強します。お友達お誘いあわせのうえ、多数ご参加下さい。

## 再び介護保険についての集い(9月23日・秋分の日) 「どうなる介護保険！」を開催します

～一宮市が決める65歳以上の保険料試算公表とその経過及今後の施策について～

- ◇日時・平成11年9月23日(秋分の日)午後1時～3時
- ◇場所・一宮スポーツ文化センター 3階小ホール
- ◇お話し・一宮市高年福祉課
- ◇参加費・300円

ご質問お寄せ下さい



バザーに協力下さい  
 会では、会の運営資金を賄うためにバザーを十月三十一日(日)に行います。バザー用品があまり集まっておりませんので、ご家庭に眠っている不用品がありましたら事務所までご連絡下さい。ご協力お待ちしています。

◆ケア活動から  
 医療、看護の連携に支えられて  
 ■在宅への支援は様々であるが、その中のひとつに感染症をおもちの方への支援がある。  
 在宅での生活を希望されながら、このことがネックで在宅支援を困難にしている場合もあり、当会へ依頼がくることもある。  
 ■私達は出来ることであれば、必要な支援はさせていたたく方向をもっていきたくはありますが、決して不安がないわけではない。  
 しかし、その方の在宅で療養したいという強い意志を大事にしていきたくは考へ、医療、看護の大きなバックアップとご本人との信頼関係を支えとし、助け合いの活動には関わっている。  
 ■ケアに当たっては、感染症に対する知識を持ち、利用者さんにも予防衣などの着用を理解を得、対応を正しく把握すること。工夫と準備を怠らなければケアにかかわることは出来る。  
 私達は常にその体制を整え、そういう方にこそ支援が向けられるよう考えています。



きたいと思っている。  
 介護支援とは何かを学ぶ大切なケアである。  
 ■しかし、ケア前後の準備や移動する人の問題には厳しいものがある。消毒の薬剤や抗菌予防衣等の購入準備。さらに辞去後、他者への感染を絶対防ぐために、着替え、シャワー、予防衣の消毒と洗濯など手立てを十分行うことは病院とは違い簡単ではない。しかし、少し努力をすれば出来ることである。  
 ■逆にいえば、感染症にかかっておられることが分かっているからこそ、安心してかかわれるのではないかと私達は、知らなくしてかかわっていることの方が多むしろ、そのほうがもっと重大であることを医療、保健、福祉の関係者は問題にしていかなければならぬような気がしている。

7月活動状況

在宅	活動件数	38件
"	活動人数	34人
"	活動時間	605.5時間
ミニデイサービス	利用者数	37人
移送サービス	利用件数	13件

7月会員登録状況

協力会員	47人
利用会員	70人
賛助会員	1489人
計	266人